



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝

事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



1998.4.20 No. 11
環境週間 [5月]

写真提供：名古屋市東山動植物園

心に夢を抱いて

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝



春風さわやかな3月24日、私たちは南の国から大切なお客様を迎えました。

ブラジルのR.I 4430地区（森和弘ガバナー）からのGSEチームです。

豊田淳治リーダー以下5名の皆さんには、1カ月にわたる滞在中に、それぞれの職種に見合った職業研究や様々な文化体験、あるいは2760地区ロータリアンとの交流を通じて、立派な研究成果をお持ち帰りになったことと思います。

この間親身になってお世話いただきました各分区代理、各クラブ会長および会員の皆様に、心から御礼申し上げます。

なお当地区からブラジル4430地区への派遣は、犬飼芳樹リーダー以下5名で、5月2日に出発し期間は同じ1カ月です。

5月15日、16日には、サンパウロ郊外で地区大会が開催され、これにも出席の予定です。

3月28日には西三河第2分区I.Mが開催され、「4つのテスト」をテーマに掘り下げた研究発表と積極的な発言があり、大変勉強になりました。

翌3月29日には当地区最後のI.Mが尾張第一分区で開催され、WCS活動をテーマに、その報告と今後の課題につき熱心な検討がなされ、有意義な催となりました。

4月5、6日には豊橋で第6回RYLAセミナーが開かれました。各クラブ推薦の受講生はじめロータリアン、外国人留学生など計360人が参加され、「新世代と国際交流」という時宜を得たテーマでランデル（春田）洋子さんの基調講演の後、10分科会に分かれて独自のサブテーマを設定し、意見交換が行なわれました。

発表会を通して感じたことは不況や汚職、青少年問題など暗いニュースばかりのなか、新世代の皆さんは大変しっかりしているということです。

切り口のちがったテーマで、時代と年代の差を

こえて、私たちを納得させる結論が多く、21世紀を担う新世代の皆さんの市民感覚と行動力を、非常に力強く思いました。

翌4月7日には名古屋市内でPETS（次期会長研修会）が開催され、内藤次期ガバナーが本年3月出席されたアナハイムでの国際協議会の成果をもとに、次年度への所信と、いろいろなご方針を発表されました。

「夢」は「心」で見えるものであり、「心」は「夢」にリードされて動くものであると思います。

表現はちがっても、キンロス会長とレイシー次期会長のテーマは、結局同じ方向をめざしたものではないでしょうか。

ポールハリス以来93年、脈々と流れ続けるロータリー・ウェーブの迫力を感じます。

さて各クラブ会長・幹事の皆さん。私たちの任期は残り2カ月足らずとなりました。

ガバナーとしての担務を大過なく完遂できたのは、ひとえに会長・幹事各位のお力ぞえと暖かい友情のたまもの、心から御礼申し上げます。

また地区役員、クラブ役員の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

百里の路は九十九里をもって半ばとすると言います。5月に予定されている地区協議会ははじめ、今後も地区行事やクラブ行事が重なっており、心を引き締めてゴールまで頑張りましょう。

6月13日からはインディアナポリスで世界大会が開催されます。各クラブから、できるだけ多くの方が参加され、現地でお目にかかりたいと思っています。

時は5月青葉の候、世の中は足踏み状態が続いていますが、四季の歩みは着実に正確です。

私たちは「ロータリーの心」に「夢」を抱いて、明かるい未来を築くため、1日1日が悔いのない充実した日となるよう、努力したいと思います。

国際協議会報告

国際ロータリー第2760地区
ガバナーノミニー

内藤 明人



1998年国際協議会に、3月6日～14日迄8日間、米国加州アナハイムホテルに行き参加してきました。例年同様と思われますが、総てが整然と質素に要領を得て準備されている事に驚きました。参加者のガバナーノミニーは日本の34名を含め、世界で512名、夫妻ですから1,000名余の参加者でした。

3月7日から13日迄午前中は主として本会議、午後は分科会という組立てで午後5時30分迄、研修会は連日行われました。毎本会議開催に当たってはロータリーソング等合唱してから点鐘し、黙祷(20秒位)を終わってから会議が始まる。特に黙祷はメディテーションであり、心を集中するためであり、我々も考えるべきだと思いました。又分科会は日本のGN34名は2班に分かれ、RI研修リーダー渡辺好政、石原敬士、松岡通夫3パストガバナーにより連日進行されました。

・3月7日(土)第1回本会議

RI会長エレクト、J.L.レイシー氏の基調講演「ロータリーの夢を追い続けよう」(Follow your Rotary Dream!)。分科会は、このテーマにつき討議。午後第2回本会議 G.W.キンロス会長の講演「四大奉仕部門—他の人がしないことをする」。そのテーマにつき分科会協議。

・3月8日(日)第3回本会議

「会員の増強と退会防止」と題し、RI財団委員R.キング氏講演。分科会は ①会員増強の機会 ②会員教育の方法 ③特別な注意を要するクラブの強化 ④表彰の重要性につき夫々50分にかけて協議する。

・3月9日(月)第4回本会議

「ロータリー財団—世界をみる窓」と題し、RI財団委員長C.ダクターマン元会長講演。分科会は (1)(2)「人道的補助金」 (3)「教育プログラム」 (4)「資金開発の機会」夫々1時間～1時間20分に亘り協議。

・3月10日(火)第5回本会議

「ポリオ・プラス」をテーマに、G.W.キンロス会長が議長となり、財団4人による座談会。次いで「GSE」につき訓練委員長J.C.スティルマン議長によるグループ討議。

・3月11日(水)第6回本会議

「ロータリープログラム」につきRI地区区域委員長

G.グロス氏講演。分科会は「ロータリーのイメージにつき」次いで次のテーマにつき協議。(A)世界社会奉仕 (B)インターアクト、ローターアクト、RYLA (C)RIの交換プログラム (D)会長エレクトの特別強調事項 (E)PETSと地区協議会 (F)ガバナーの講演：地区との接触。分科会では「地区大会」について。

・3月12日(木)第7回本会議

「RI事務局：奉仕を促進する」RI事務総長S.A.ハイアット氏講演。分科会は職員とのグループ別会合。午後第8回本会議「リーダーシップの継続」RI財団委員B.ハントレー氏講演。分科会は「効果的に管理するための地区組織」(未来を築く)、即ちニューリーダーシッププランにつき協議。

・3月13日(金)第9回本会議

「リーダーシップと動機付け」レイシー会長エレクト講演。分科会「貴地区チームの動機付け」。「公式訪問」「1998年国際協議会の評価」を協議し終る。

ジェームス L. レイシー会長エレクトの基調メッセージは次の如くでした。

主題は「ロータリーの夢を追い続けよう」(Follow your Rotary Dream)

その主旨は、私等は思いやりがあればこそロータリアンになった。私等は他の人々の事、地域社会の事、住む世界の事に心をかけています。ロータリアンは顔を合わせて常に社会と隣人に対する配慮ということで結ばれている。社会に目をやると、恵まれない子供、高齢者、不幸な生活者が世界に沢山います。これに対し我々は、子供が愛され、健康で教育を受け助けられる世界を夢みよう。高齢者が尊敬と支援と威信を保たれる世界を夢みよう。飢える人、病める人の声に耳をたて、慰みと癒しの夢をみよう。すべての人々が教育と品位ある仕事に恵まれる夢、戦争と暴力をもたない夢。これらがロータリーの夢です。

非常に高邁な主旨に感動を覚えました。私の1年のテーマの中に当然主旨を取り入れたいと思います。

尚、ブレザーコートの色は、濃紺(ネービーブルー)と、98-99年は決まりました。虹の色の順序のようです。

今回国際協議会に参加して、すっかりロータリー教の洗脳を受けた気持ちですが、次期ガバナーとしての責任を覚えた8日間でした。



RIレイシー
会長エレクト
ご夫妻と共に

「清い情熱がいっぱい満ちた I.M.」

1997～'98年度 西三河第一分区 INTERCITY MEETING

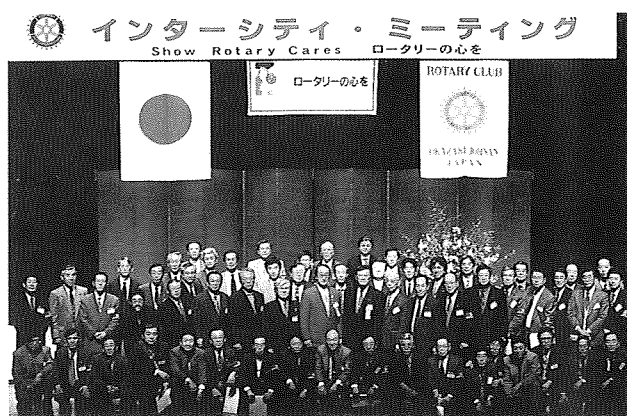
西三河第一分区 分区代理 有馬 惟夫

- ◇と き 1998年2月28日（土）
 ◇ところ 岡崎市竜美丘会館大ホール
 ◇ホスト 岡崎城南ロータリークラブ
 [プログラム]

登録受付 13:00～13:30
 開会式 13:30～14:00
 講演会 14:10～15:40
 閉会式 15:50～16:10
 懇親会 16:30～17:20

快晴に恵まれて西三河第一分区のI.Mが開催されました。分区内より、犬飼ガバナーを始め8クラブ、250余名という多数のロータリアンの皆様にご参加いただき、心より感謝致しますと共に、I.Mを開催する喜びと、責任を感じました。まずは心より厚く御礼を申し上げます。

今回のI.Mは、犬飼ガバナーの5項目のガバナー方針のうち、第一番目に提唱されました「ニューリーダーシップ」をテーマとして準備をしてまいりました。又、岡崎城南RCは創立して9年目を迎える若いクラブであり、平均年令も52才と若く、その若々しさも前面に打ち出して機敏でさわやかなI.Mを心掛けてまいりました。講演会においては、PHP研究所副社長である江口克彦氏による「松下幸之助に学ぶ、人の使い方・活かし方」という演題で、松下翁の人となり、人に対する接し方、考え方、そこから生まれる人間の能力の活かし方を、時にユーモアをおりませながらお聞かせいただき、「ニューリーダーシップ」と新世代の育成に関する



理解を深めた思いが致します。講演の後、犬飼ガバナーよりPHP研究所との深いつながりをお伺いし、ロータリアンとの身近さをも感じました。

式典終了後の懇親会は大変盛況であり、I.Mの目的である会員相互の交流と親睦を十分に果たしたのではないかと思います。特に犬飼ガバナーが懇親会の中盤に各テーブルを順々に回っておみえになり、I.Mを開催したクラブとして本当に頭の下がる思いが致しました。

最後に、区内会員皆様におかれましては、多大な御協力を頂き心から感謝申し上げます。



江口克彦氏による講演



1997～'98年度 西尾張分区 INTERCITY MEETING

西尾張分区 分区代理 加藤 千博

1998年3月7日名鉄犬山ホテルにおいて西尾張分区インターシティミーティング (I.M) を開催いたしました。ご多用のなかR.I第2760地区犬飼栄輝ガバナー、加納パストガバナー、神戸パストガバナーはじめ8名の特別出席者のご来臨を頂きました。分区内の一宮、津島、一宮北、稲沢、あま、西春日井、尾張中央、一宮中央、及びホスト担当の尾西RC以上9クラブから、会長、幹事、役員及びメンバー330名が参加され意義ある半日を共に過ごしました。

第一部式典で犬飼ガバナーより今回のI.Mに大いに期待しているとあいさつがあり、石田犬山市長の飛入りで歓迎の言葉がありました。パネルディスカッションは、コーディネイターを大竹地区R財団委員、アドバイザーを加納泉・神戸政治、両パストガバナーと加藤千博西尾張分区代理が務め、テーマの「ロータリーの心を」、サブテーマの、「食困をなくし、痛みのわかる社会奉仕をめざして」と「思いやる心をもち、新世代を育成するために」について9クラブの代表者と熱心な質疑と応答があり、有意義な勉強会となりました。パネリストの真剣な発言と、それを気遣う各クラブ参加者のふれあいは、これぞロータリアンと思わせました。

第三部基調講演は小出忠孝愛知学院大学学院長、学長が「青少年の教育について」をテーマに、多発する中学生のナイフ事件を取り上げ、人間の欲望にはキリがない、我慢することを教えない、という内容で感銘深いものでした。

第四部全体会議で、犬飼ガバナーは講評として、



犬飼ガバナーのあいさつ



パネルディスカッション

教育の原点は他人を思いやる気持ちであると感じた、内容の濃いI.Mであった、としめくくられました。

午後6時より、神戸パストガバナーの乾杯発声により懇親会に入り、9クラブの会員それぞれが友好と親睦を深めました。今回のI.Mを企画実行するに当たって諸般に亘ってご指導、ご助言を賜りました加納・神戸、両パストガバナー、あまRC大竹氏及びパネリストに厚く御礼申し上げます。

ホスト担当の尾西RC、服部実行委員長、吉田会長はじめ全会員のご協力、ご支援に対し深謝の意を表します。ありがとうございました。



講演 小出忠孝先生



神戸PGの乾杯発声で始まった懇親会

1997~'98年度 東尾張分区 INTERCITY MEETING

東尾張分区 分区代理 早川 八郎

桜前線が北上し始め日本列島が明るくなって参りました。

国際ロータリー第2760地区東尾張分区の「インターシティ・ミーティング」は1998年3月15日、春日井ロイヤルホテルに300人のロータリアンが参加して開催されました。

第1部の式典につづいて、京都大学名誉教授、大島清先生を講師にお願いし「脳とロータリーの心」と題して基調講演が行われました。第2部は懇親会、春日井ロータリークラブのホストで全会員が協力して、簡素ながら工夫をこらしたリーズナブルなIMが実行できました。

RI第2760地区犬飼ガバナーは、IMとは分区の地区大会である、テーマを決めロータリーのあるべき姿について皆んなで考えること、今年のRI会長テーマ「SHOW ROTARY CARES」ロータリーの心を示すこと、会員の親睦をも深め充実したIMにして頂きたい、とご挨拶されました。

大島先生の基調講演の中には、永年の研究から「性は生なり」など、長生きの秘訣についてユーモアに富んだお話もありました。

長生きの秘訣（長寿者のデータより）

1. くよくよしないこと（前向きに生きる）
2. 良い姿勢を常に保つこと（生活すること）
3. マメに動くこと（筆マメ）
4. 良く噛んで食事をする（脳を刺激する）
5. 体を動かす（1日1回汗が出る運動をする）
6. 血圧は低く保つこと
7. 肥満に注意すること



大島先生の基調講演「脳とロータリーの心」



8. ダンディーであること（おしゅれは長生の秘訣）
9. タバコは吸わないこと
10. 酒は適量（深酒は良くない）

生涯現役 カキクケコ（脳は使っている限り衰えない）

- カ. 感動すること（1日3回以上）
- キ. 興味を持つこと（何事にも興味を持つ）
- ク. 頭を使うこと（創意工夫する）
- ケ. 健康になることを考える（実行する）
- コ. 恋をすること（現役を続ける秘訣）

その他、環境問題、現代の社会問題等々幅の広いエネルギーなお話でした。

第2部の懇親会では分区内の交流を深め、親睦の輪を広め、友愛の花を咲かせて頂き、1999-2000年度の地区大会ホストが犬山RCに決定いたしました。ガバナーの講評は、大島先生の「脳とロータリーの心」のお話はユニークな大変面白い内容で充実したIMであったと、お誉めのことばを頂きました。ガバナーノミニの挨拶、次期分区代理の挨拶が続き、最後に奥谷PG・福田PG・伴野PB全員参加の「手に手つないで」の大合唱のなか、出席者全員がロータリーの心を示して東尾張分区のIMは閉会いたしました。



1997~'98年度

第3回地区インターアクト顧問・委員懇談会

日時/1998年2月28日(土) 会場/名古屋YMCA

地区インターアクト(小)委員会

委員長 坂本 康信

去る2月28日(土)午前10時より名古屋YMCA・AVホールにおいて、一昨年より実施した国際ロータリー第2760地区 第3回地区インターアクトクラブ顧問・委員懇談会が開催され、顧問教師23名、地区役員・委員12名、スポンサーロータリークラブインターアクト委員長・青少年活動委員長19名等総勢54名のご出席のもと盛会かつ成果を得て終了した。

《懇談会の主旨》

(1)地区インターアクトクラブの情報交換及び意見交換(プログラムアイディアの交換、運営に困っている問題、提唱ロータリークラブ・地区インターアクト委員会への要望) (2)今後の課題整理及び方向性の確認 (3)各校顧問教師の交流 (4)顧問教師とロータリアン委員との交流

《開 会》

今枝秀夫地区インターアクト委員の司会によりすすめられた。

インターアクトの歌の斉唱、つづいて坂本康信地区インターアクト委員長のあいさつ(主旨説明)、犬飼栄輝ガバナーよりインターアクトクラブ顧問並びにスポンサーロータリークラブ委員の活躍に対する敬意、更にロータリースピリットで21世紀から20世紀に留学にきている青少年を幅広い人間性、豊富な知識、暖かい心を持った青少年に育てるのが我々の役割であると述べられ一同感

動致しました。

更に加藤正男地区青少年活動委員長より参加者へすばらしい感謝の挨拶がされた。

《懇談会》

山口誠一地区インターアクト委員の司会によりすすめられた。

(1)参加者の紹介一角谷地区委員により紹介

(2)情報交換

a. 各インターアクトクラブの特徴及び課題(諸問題)について、豊川、豊田、岡崎城西、岡崎学園、光ヶ丘、名短付属の6クラブの顧問教師より発表があり、その後坂本委員長より発表を踏まえて、インターアクトクラブに関わる指導者は、青少年をあらゆることにチャレンジさせることであり我々も常にチャレンジしたいとまとめる。

b. 第9回(通算第35回)インターアクトクラブ協議会の計画について、ホスト校一宮女子高校石井顧問より発表された。

c. 第11回地区インターアクトクラブ海外研修派遣の計画が坂本委員長より報告された。

《懇親会》

清水裕行地区インターアクト委員の司会によりすすめられた。

鈴木孝則青少年活動副委員長の感謝の挨拶と乾杯の発声で懇親会がすすめられ、最後に荻本鉄夫地区インターアクト副委員長の閉会挨拶で終了。



挨拶をされる犬飼ガバナー



課題発表 城西IAC顧問歴30年の久米顧問

歓迎 RI第4430地区G.S.Eチームの皆様 ようこそ RI第2760地区へ

地区研究グループ交換(小)委員会
委員長 松前 憲典

1998年3月24日(火)国際ロータリー第4430地区G.S.Eチームは、名古屋空港に無事到着。ガバナー代理片山地区幹事とG.S.E委員会が出迎え、心から歓迎を致しました。G.S.Eメンバーの紹介と簡単なあいさつを交わし、豊田淳治リーダーとメンバーは元気に名鉄グランドホテルへバスで移動し、チェックインいたしました。

桜咲く知事公館で鈴木知事を表敬訪問

3月27日(水)午後4時、桜咲く美しい知事公館で、鈴木知事を表敬訪問し、親しくお目にかかりました。犬飼ガバナーより、第4430地区メンバーの紹介があり、豊田リーダーを始め、メンバーがあいさつをし、記念品を贈呈致しました。今年は日本人移民の90周年にあたり、鈴木知事は8月にブラジルの県人会の招きで、訪伯される予定と述べられました。

第4430地区(ブラジル)G.S.Eチーム歓迎会

とき 1998年3月26日(木)

ところ 名鉄グランドホテル「桐」の間
プログラム

- | | | |
|---------------|----------------------|-------|
| (進行) | G.S.Eリーダー | 犬飼 芳樹 |
| | 通 訳 | 幕田 和江 |
| 1. G.S.E委員長挨拶 | G.S.E委員長 | 松前 憲典 |
| 2. ガバナー挨拶 | ガバナー | 犬飼 栄輝 |
| | 第4430地区メンバー紹介 | |
| 3. 出席者紹介 | G.S.E副委員長 | 佐竹 弘 |
| 4. 乾 杯 | G.S.Eカウンセラー | 福田 浩三 |
| 5. G.S.Eメンバー | (第2760地区) 紹介 | |
| | G.S.Eリーダー | 犬飼 芳樹 |
| 歓迎の歌 | | |
| 6. ギター演奏 | 4430地区G.S.Eメンバー | |
| | ルイス・エドワルド・ベッセ・デ・アルーダ | |
| 7. 中締め | 尾張第一分代理 | 河合 博文 |

歓迎会には犬飼ガバナーをはじめ、各分区分代理、地区役員、約40人が参加、豊田淳治リーダーとメンバーを歓迎しました。初めに松前G.S.E委員長が歓迎のあいさつ。続いて犬飼ガバナーが、「春風とともに地球の反対側のブラジルから大切なお客さまが到着し、心から喜んでいきます。G.S.Eの目的は、日本とブラジルの国際交流を一層深めるとともに、研修したことを通じて皆さんの将来に

役立ててもらうことにあります。頑張ってください」と激励、研究グループを紹介しました。

続いて、研究グループの豊田リーダーが、「いろいろと経験することが心や考え方の成長に大きな力となるものであり、私たちも多くの人と交流し体験したいと思うのでよろしくお願いします」とあいさつ、続いて4人のメンバーが「できるだけ多くのことを学んで帰りたい」などそれぞれに抱負を述べました。

第2760地区からブラジルを訪問する犬飼芳樹リーダーを始め、4名のメンバーが、歓迎の歌を披露し、第4430地区からは日本の歌を聞かせていただきました。約2時間にわたって片言の英語、日本語や身振り手振りなどを交えながら懇談、研究グループを激励しました。

3月28日より約1ヶ月、三河地区、尾張地区、名古屋地区と、愛知県各地で観光と研修を行い、4月23日に帰国致します。各分区分代理を始め、各クラブの会長、幹事より絶大なる歓迎とご支援をたまわり、心から御礼を申し上げます。



RI第2760地区G.S.Eメンバー抱負を語る



チーム・リーダー（ロータリアン）
犬飼 芳樹君

当地区にとって23年ぶりの研究グループ交換のチーム・リーダーに選ばれたことを光栄に思っております。又、チーム・メンバーには、大変優秀な若い職業人4名が選ばれ、ご推薦いただいたクラブに対し、心より感謝いたします。

私は、この将来を担う4名の若者が、4430地区でのG.S.Eプログラムを通して、国際理解を深め、友情を育み、奉仕の精神を学び、更には職業研究によって自己研鑽が図れるように、リーダーとしての責務を果たす覚悟でおります。

そのためにも、できる限り多くの人達と交流を重ね、可能な限り多くの事物を見聞きして、ブラジルをたくさん学んで帰りたいと思っております。

約1ヶ月間、健康に留意しながら、豊かな心を以って明るく行動し、2760地区の親善使節として最善を尽くしてまいります。



チーム・メンバー
村田 修君

この度は、私をG.S.Eメンバーにご推薦頂き大変感謝しております。豊橋市の小学校に勤務させて頂き5年が過ぎましたが、この5年間でふりかえてみても、豊橋市は、ブラジルからの出稼ぎ労働者の方が大変増えました。我が岩田小学校では、80人を超えるブラジルの子が通っており、国際理解教育の研究実践に積極的に取り組んでおります。子供たちを指導するにあたって、言葉や文化、習慣などの違いからトラブルになることもあります。この研修は、ブラジルという国を肌で感じることができる大変素晴らしいものです。少しでも多くのブラジルの方と触れ合い、話をすることで研修をより深めていきたいと考えております。現在、ポルトガル語の猛特訓中でありま。何とぞ宜しくお願い致します。



チーム・メンバー
内藤 幸子君

ブラジルと聞いて頭に浮かぶ事はやはり“カー

ニバル”、自国の音楽性がはっきりしている国民にとって、音楽とはどんな力を持っているのでしょうか。

私達日本人は、世界中の音楽を受け入れてはいますが、真に心に残る音楽、楽しめる音楽とは何かが、ブラジルで見つけられるのでは、と楽しみにしています。子供から大人まで一緒に楽しめる音楽が日本では見つけにくい現在、ブラジルではどの様に、大人から子供達へと伝えられているのでしょうか？ 子供達への音楽教育現場を楽しく見学し、感じ取って来たいと思います。



チーム・メンバー
高橋 利治君

1ヶ月という期間にわたって海外へ行く。とても不安である。しかし渡航が近づくにつれて、不安が少しずつではあるが期待と楽しみに変化を始めた。

ブラジルの建築物とは？ 建設業とは？ 設計とは？ このような疑問に対する答えを見つけてくることが最大の目的ではあるのだが、それだけではなく、ラテンアメリカ大陸の大きさを実感し、ブラジル人の底ぬけな陽気さを体感することも、必然的な目的の一つであると思うようになってきた。

私は期待と不安の間で苦悩しながら、自分の可能性を探しに行くのかもしれない。しかし時間と体力のゆるす限り全てのことに体当たりしてきたい。



チーム・メンバー
横田 悌三君

学生時代、1年間サンパウロで生活したことのある私にとって、ブラジルはまたいつか訪れるべき国でしたが、「その日」がこれ程早く、しかも職業研究という形でやって来るとは思いもしませんでした。

他の職業に携わる方々と一緒に、それぞれの職業について研究し、また普通の旅行や出張ではまず行くことのない場所を訪問できることは、自分の職業についての知識を深めるだけでなく、人間としての器量を広げる有意義な経験でもあります。

私にこのような貴重な機会を与えて下さいました両地区ロータリークラブの皆様、特にG.S.E関係委員の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、皆様のご期待に応えられるよう精一杯努力してまいります。

3月中旬に古本2トンをブラジルのサントス港へ。 ブラジルへの図書(古本)寄贈に感謝感激。

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝
国際奉仕委員長 林 光雄
GSE委員長 松前 憲典

〈経 過〉

○ブラジル日本文化協会より図書館への古本寄贈の依頼

平成9年6月24日～7月1日に、GSE委員会のメンバー4名(内1名は副幹事)は、平成10年に実施する第4430地区との研究グループ交換(G.S.E)にさきがけ、犬飼ガバナーの要請により、現地事情視察の目的で渡伯いたしました。

現地サンパウロでは、第4430地区のGSE委員長や国際奉仕委員長の方々に、サンパウロ日伯援護協会、日伯友好病院、そしてブラジル日本文化協会への案内をいただくなか、ブラジル日本文化協会におきまして、副会長の志村豊弘氏、事務局長の安光仙一氏から同協会が運営する図書館へ古本を寄贈していただけないかとの要請がございました。実際に図書館を見せてもらいましたが、学術書から娯楽本、全集から単行本まで多種多様の古本が収蔵されており、多くの日系人が読書に耽っております。

○各ロータリークラブに、

ブラジルへの図書(古本)寄贈のお願い

日本のことをもっと良く知りたいと言う日系人(特に2世3世)が増えているにも拘らず、新しい古本の入荷もとぎれがちで、中には読み尽くしてしまった閲覧者までいるとの話を聞くにつけ、ブラジルの日系青少年のためにも寄贈を実現できればと思います。つきまして、当2760地区として、その要請に答えるべく、各ロータリークラブの会長・幹事様に平成9年12月にお問い合わせ状をお送りしました。

○日本ジュースターミナル株式会社(豊橋)が、

図書(古本)輸送に好意の協力

日本ジュースターミナル(株)は、豊橋港に拠点を置く、ブラジルのオレンジ果汁二大生産者であるシトロス社とクトラーレ社の濃縮オレンジジュースを取扱う日本唯一の果汁ターミナルで、平成5年5月に操業を開始されております。濃縮オレンジジュースは特別な貨物船で、冷蔵(-10℃)されて到着します。船はターミナルの前に停泊し、

岸壁からフレキシブルホースを用いて、濃縮オレンジジュースをタンクファームへ送りこんでおります。

GSE委員会の席上、日本ジュースターミナル(株)の事業部長で、GSE委員の石川百代さん(豊橋RC)から、毎年2～3回ブラジルのサンパウロから濃縮ジュースをタンカーで運んでくる、帰りは空なので、古本を船で送るとよいとの提案がありました。

そのご好意で、日本ジュースターミナル(株)の倉庫に各ロータリークラブから、古本をお送り願いました。

○図書(古本)は、各ロータリークラブから5トン以上集まる

古本は、336箱(3月18日現在)お送りいただき、心から感謝致しております。特に愛知江南学園、豊田西RC、蒲郡RC、春日井RC、江南RC、豊橋市図書館等より10箱以上をお送りいただきました。厚く御礼を申し上げます。古本寄贈クラブは別紙の表の通りであります。ご多忙の中、沢山の図書(古本)を豊橋までお送りいただき、重ねて厚く御礼を申し上げます。

今年は、日本人ブラジル移住90周年の記念すべき年であります。3月23日(月)に出航致しましたので、ブラジル在住の日系人の方々のもとにまもなく図書が届くことと思います。皆様の心のこもった暖かいご支援・ご協力に重ねて御礼を申し上げます。

なお第2便として、残りの古本を次回の船で送る予定であります。最後に、日本のジュース・ターミナル株式会社のご好意に心から御礼を申し上げます。



GSE委員会からの報告

ブラジル向古本寄贈につきましての現況を下記にご報告致します。

<記>

1. 古本寄贈クラブ及び箱数…別表
2. 輸送について
 - 1) 船名 オレンジブラッサム110
 - 2) 今回の輸送は106箱(2トン)とした。
 - 3) 豊 橋 入 港 平成10年 3月20日
 出 港 3月23日予定
 ブラジルサントス港着 4月25日予定



古本寄贈クラブ (平成10年3月18日現在)

ロータリークラブ名	担当者	箱数
名古屋東RC	奉仕委員会	2
名古屋北RC	杉浦日出夫	1
瀬戸RC	奉仕委員会	2
名古屋北RC	田中康夫	1
名古屋西南RC	安井陽二	2
名古屋RC	明日香栄文	1
江南RC	佐野建	2
名古屋名北RC		1
名古屋北RC	高仲顕	3
豊橋RC	若林誠	2
名古屋北RC	船橋榎光	1
名古屋北RC	佐藤春信	1
名古屋名駅RC	田中修	2
不明	東海中・高校	2
刈谷RC		3
知立RC		3
岡崎RC		8
豊山一城北RC		2
一宮中央RC		1
名古屋RC	杉野峯一郎	5
田原RC		1
名古屋RC		1
名古屋RC	天野製薬	1
豊田西RC		56
一宮中央RC		4
名古屋RC	古川為之	2
名古屋RC		1
名古屋北RC	西尾博雄	1
岡崎城南RC		1
名古屋栄RC		1
半田RC		1
江南RC	愛知江南学園	55
豊橋市図書館	館長 河合正樹	40
高浜RC		2

ロータリークラブ名	担当者	箱数
西春日井RC		2
名古屋RC	吉備昭夫	2
蒲郡RC		15
碧南RC		2
一色RC		2
豊橋RC	丸田英範	5
名古屋錦RC		9
名古屋空港RC		2
春日井RC		12
東知多RC		1
不明	(社)発明協会	2
名古屋大須RC		5
西尾RC		5
不明	(株)トウガク	2
名古屋名駅RC		2
豊橋南RC		2
豊橋ゴールデンRC		2
一宮RC		2
名古屋西南RC		1
不明	大同特殊鋼(株)	1
名古屋南RC		2
尾西RC		3
名古屋RC	盛田株式会社	3
名古屋RC	盛田和昭	3
岡崎南RC	大久保商事(株)	1
岡崎東RC		2
名古屋昭和RC		2
西尾KIRARA RC		1
江南RC		11
豊田三好RC		1
小牧RC		2
常滑RC		2
豊橋RC		15
合 計		336

(受取日順)

2760地区

特別寄付報告書 (1998年2月分)

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合計	件数
あ ま	0	100,000	0	100,000	1件
半 田	0	60,000	30,000	90,000	3件
東 知 多	0	150,000	0	150,000	1件
一 宮	0	30,000	0	30,000	1件
刈 谷	192,000	0	0	192,000	1件
小 牧	0	540,000	0	540,000	3件
名 古 屋	0	240,000	300,000	540,000	20件
名古屋空港	0	300,000	0	300,000	1件
名古屋名東	0	300,000	0	300,000	1件
名古屋南	0	990,000	0	990,000	44件
名古屋中	0	1,350,000	0	1,350,000	45件
名古屋東南	0	30,000	0	30,000	1件
岡 崎	0	35,000	0	35,000	4件
岡 崎 東	12,703	100,000	0	112,703	2件
岡 崎 城 南	0	50,000	0	50,000	1件
岡 崎 南	0	30,000	0	30,000	1件
高 浜	0	270,000	0	270,000	1件
豊 橋 東	0	10,000	0	10,000	1件
豊 橋 北	8,000	0	0	8,000	1件
豊 橋 南	0	40,000	0	40,000	2件
豊 川 宝 飯	0	60,000	0	60,000	2件
豊 田	0	300,000	0	300,000	10件
合 計	212,703	4,985,000	330,000	5,527,703	

記念館情報

記念館の完成が迫る

昨年の7月28日に起工式を挙げてから8ヶ月の工事が経過いたしました。

右の写真のとおり重厚な外壁は完成し、アプローチの石畳張りとお構工事の植木の植栽が、現在進行しておりますが3月末には建物と外部関係の工事は予定どおり終わると思います。

展示関係は資料の収集もほぼ完了して、具体的な展示の検討に入っており、4月上旬にはこの作業も終わり、全ての建設工事が完了する事になります。

米山梅吉記念新館の落成式は4月28日(火)の予定です。



一宮北ロータリークラブ創立35周年記念例会

1963年3月に一宮ロータリークラブのスポンサーにより、一宮市の北半分と木曽川町を含めた地域をテリトリーとして当クラブが発足し、本年度で35周年を迎え、現在会員数84名と大きく成長いたしました。これもひとえに、地区及び近隣ロータリークラブのご支援と会員並びに先輩皆様方のご努力のお陰と感謝する次第でございます。

今日、日本も国際化時代に入り、私どものロータリー活動も年々国際関係にかかわる事業も増えております。当クラブが直接的、間接的に関係する事業を数えて見ますと、マレーシアのペナンロータリークラブとの姉妹提携、WCS、ポリオプラス、GSE、ロータリー財団、米山奨学会等数多くあります。あとわずかで21世紀を迎えようとするこの時期、今後、国際関係の事業は今以上に増えてゆくものと考えられます。しかしながら私どもの生活する地域社会に於いても、まだ我々が社会奉仕する機会は沢山残っております。今後も地域社会を意識し、会員一同、ロータリー精神“奉仕の心”で社会にお役に立てるクラブ活動をして参ります。

21世紀に向け、時代のニーズに合ったクラブ活



動を活発化し、会員相互の一層の親睦を計り、今以上に楽しいロータリークラブに成長、拡大してゆきたいと思っておりますので、本日ご出席の皆様方にも今後とも一層のご支援、ご理解、ご協力をお願いする次第でございます。

また、本日の記念例会の準備をしていただきました全会員の方々にお礼を申し上げます。万が一、手違い等がございましたらばお許しを頂きますよう、お願い申し上げます。

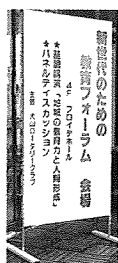
記念事業

1. 金50万円也をロータリー財団に寄付
1. 金150万円也を財団法人ロータリー米山記念奨学会に寄付

新世代会議

新世代のための教育フォーラム 「うちの子に限って」

犬山ロータリークラブ
社会奉仕委員長 仙田 逸二



SHOW ROTARY CARES 「ロータリーの心を」のテーマのもと、ロータリーらしい社会奉仕活動とは何かという問題から、地域社会と一体となった事業をということで、本年度は「新世代のための教育フォーラム・うちの子に限って」と銘うって、去る2月28日(土)犬山国際観光センターフロイドホールにて、講演会とパネルディスカッションを開催いたしました。計画当初はまだ子供達の問題も多くはありませんでしたが、準備の途中で、神戸の事件、ナイフ、暴力事件などマスコミで大きく取り上げられるような暗い社会問題がふえ、その度に家庭、学校、地域において「うち

の子に限って」との言葉が聞かれ、皆で考えるには時期的に合ったフォーラムとなりました。

講師には名古屋大学名誉教授で教育学者の堀内守先生をお招きして「地域の教育力と人間形成」という演題で講演をいただきました。その中で西尾市で起きたいじめの問題にふれられ、マスコミ等で語られていない先生自身で確かめられた部分のお話や、専門的な立場からの説明は参加者に共感をいただきました。つづいてパネルディスカッションでは、子供達をとりまく家庭、学校、地域とそれぞれの立場の方々から、「むかつく」「きれる」といった言葉が日常的に使われる背景、家庭

において親の子供のしつけ問題、教師としての子供達の指導方法、地域社会の中でのかわりなど真剣な討論をしていただきました。家庭、学校、地域社会この三つの役割分担をうまくするには風

通しをよくすることであり、私達ロータリアンもその一員として、どのようにかわりをもっていったらいいのか考えさせられる一日でした。

「高校生との対話集会」報告

名古屋名南ロータリークラブ
社会奉仕委員長 丸山 隆資

目的：青少年の一部ではあるが現在の複雑な世相の中、麻薬等薬物や性非行さらに凶器による殺傷等々に走り、将来に夢・希望を失いかけている。こうした状況の中、「何が真実か」「自分たちはどうあるべきか」を認識してもらう為、対話集会を開催した。

愛知県警察本部の共催を得て、平成10年3月8

日(日)名古屋国際会議場にて、愛知県下の高校生、一部高校のPTAを始め、ロータリー関係者を含め参加人員約110名の集会を開いた。

第一部、ジョン・ギャスライト氏による基調講演「子供は地球のヒーローだ」、第二部は「薬物問題」「性非行問題」「高校生のあり方」の3グループに分かれ、リーダーは高校生、アドバイザーはロータリアン1名、大人は後ろで傍聴する形式で討論会を行った。ジョン氏の講演では、そつと目頭を押さえる光景も見られ、感動的講演であった。討論会では、傍聴者やテレビ取材等があつて皆さんが緊張し、最初から活発な討論とはならなかったが、次第に慣れ、自分たちの体験を話し始め、中にはドキッ!!とするような発言もあった。

最後に3グループのリーダーから各グループのまとめを発表。坂本地区インターアクト委員長の総評があり、好評の内に閉会した。一部の高校生は閉会後もグループを作り討論の続きをやっていた。こうした形式は彼等としても初めての経験であり、今後も継続してほしいとのことであった。

当日の夕刻はCBC、翌朝はNHKがニュースで取り上げ、「友達、両親、先生とのコミュニケーションがいかに大切か」という解説で放映された。関係各位、特に地区石川ローターアクト委員長、坂本インターアクト委員長のご協力を賜り、大変有意義な集会であった。

高校生との対話集会 プログラム

日時：平成10年3月8日(日) 受付 13:20
開会 14:00

場所：国際会議場 432号室
司会：石川房江(名古屋名南RC)

14:00 開会のご挨拶 名古屋名南ロータリークラブ 会長 伊藤圭一
" 愛知県警察本部少年課 次長 赤谷昭高
" 国際ロータリー第2760地区ローターアクト委員長 石川 敬

14:10~15:10 講演 ジョン・ギャスライト氏
「子供は地球のヒーローだ」

◆グループ別に移動(A:431号室 B:433号室 C:437号室)

15:30~16:10 討論会 (リーダー 会場にて指名)

Aグループ 「覚せい剤・シンナーなど薬物乱用防止」

アドバイザー 伊藤圭一・少女に蔓延している理由
・友達に誘われたら…?
・防止するためには…
大人の出来ること、青少年の出来ること

Bグループ 「性非行防止」

アドバイザー 石川 敬・大人の問題、少女の問題
・防止するためには…
大人の出来ること、青少年の出来ること

Cグループ 「高校生の生き方、あり方」

アドバイザー 坂本康信・夢、希望、目標
・ボランティア、スポーツ、芸術

16:15 各グループリーダーによる発表

16:25 閉会のご挨拶 国際ロータリー第2760地区インターアクト委員長
坂本康信

16:30 「高校生との対話集会」閉会



基調講演 ジョン・ギャスライト氏



グループ別ディスカッションする高校生



高校生によるまとめ発表

「新世代のためのロータリー会議」に参加して

岡崎ロータリークラブ

青少年活動委員長 山本 邦雄



去る3月8日(日)名鉄岡崎ホテルにおいて、新世代育成プログラムの一環として、岡崎4R.C合同で「新世代のためのロータリー会議」が開催されました。

ロータリークラブの重要な活動のひとつとして、年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の育成を支援することが謳われています。今の日本は、ここ数十年経験したことのない混乱の時期を迎え、将来の見通しもつかないまま21世紀を迎えようとしています。このような現代の世情を考えると、若い世代の将来は一層厳しい時代となり、混迷を深めるものと考えます。そこで来るべき将来はどのような社会なのかを具体的に知ってもらい、対応してもらいたく演題を「高齢化社会に向かって」としました。

当日は、来賓としてR.I第2760地区青少年活動委員長加藤正男氏、同地区ローターアクト(小)委員会委員藤井克己氏が出席され、新世代の代表として、インターアクト、ローターアクト、J.Cより約40名、それに岡崎4ロータリークラブ会長、幹事、青少年活動委員の皆様計65名が参加されま

した。

基調講演は愛知県医師会副会長の築瀬正邦氏にお願いし、それを受講した後に各テーブル別にロータリアンが進行係を務めるなかグループディスカッションに移りました。グループ発表の意見として、高齢者の就労の機会、場所を整備する、若い世代も含め健康維持に努力する、子供の数を増加させよう、仕事をしていると年金がもらえないなどの制度の矛盾を指摘する意見などが多数発表され、和やかななかにも厳しい未来を感じながら、有意義な一時を過ごすことが出来ました。



第2760地区ニュース・その他

クラブだより 世界ローターアクト週間 活動報告

江南ロータリークラブ会長 伊藤 鶴吉

3月は世界ローターアクト週間です。

江南ローターアクトクラブも長い伝統と歴史の中で活動を続けています。今年も恒例になっております江南市立養護老人ホーム「むつみ荘」を慰問し活動してきました。

3月8日(日)にRACメンバーが多勢で訪問して高齢者の方々と交流を行いました。

先般のバザーの益金で洗濯機を寄贈しました。同日はメンバー一人一人がペットボトルで植木鉢を造り、絵を書いたり、それにメッセージをつけたたり、また、パンジーなど高齢者の方々と一緒になって植えて、部屋に飾っていただきました。

65歳から95歳までの45人がみえますが、どの方にも非常に喜んでいただけた姿をみて感動しました。

これからますます高齢者の人が増す中で、若い人との関わりは、今後の重要な課題でしょう。

最後に当日ご協力いただいた、ロータリアンの皆さまにも厚くお礼申し上げる次第です。

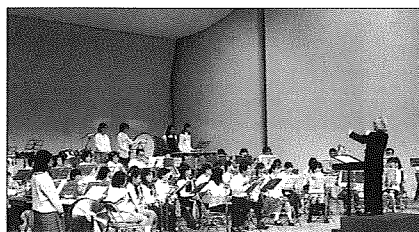


老人ホームの方々と
アクトとの植木鉢づくり



アクト、ロータリアン、ホームの皆さんと記念写真

クラブだより 知多ロータリークラブ 1年間の成果披露 知多市ジュニア吹奏楽団



(平成10年3月24日
中日新聞 朝刊)

知多市ジュニア吹奏楽団の第2回定期演奏会(市教委、知多ロータリークラブ後援)が22日、同市勤労文化会館であり、1年間の練習の成果を披露した。

市内の中学校には吹奏楽部がなく、5つの中学校の音楽好きの生徒たちが集まって昨年1月、楽団を結成した。クラブ活動ではないため、土曜日と日曜日の月2回、中学教諭らの熱心な指導で練習を重ねてきた。

第1部の「吹奏楽のための第二組曲」に続き、2部で「となりのトトロ」や「魔女の宅急便」など宮崎駿の人気アニメシリーズを5曲、演奏。軽快な音楽を約200人が楽しんだ。

新 ポール・ハリス・フェロー 2月分

氏 名	所属R.C.	氏 名	所属R.C.
梶江 時男 (知 多)		近藤 恭弘 (半 田)	
青木 雅博 (知 多)		新美 舜三 (半 田)	
鈴村 鉦直 (知 多)		上原 昌平 (半 田)	
尾之内安夫 (知 多)		六鹿 直視 (半 田)	
大澤 富男 (知 多)		杉浦 勝善 (半 田)	
小沢 尚功 (碧 南)		小栗 孝久 (半 田)	
河木 照雄 (豊 田)		竹内 俊介 (半 田)	
福田 正夫 (豊 田)		大沢 勝 (名古屋東南)	
横山 真久 (豊 田)		古澤 武雄 (岡 崎)	
本池 定之 (豊 田)		柳田 豊 (田原パシフィック)	
早川 知夫 (名古屋北)			



100%ポール・ハリス・フェロー・ ロータリー・クラブ

会費を納入する全クラブ会員がポール・ハリス・フェローの認証を受けたロータリー・クラブは、財団管理委員会承認の特別認証バナーを受領する資格を有します。

この認証は、全員ポール・ハリス・フェローであることを地区ガバナーが証明し、ロータリー財団がそれを確認した時点で、1回に限り授与されます。

100%ポール・ハリス・フェロー・ロータリー・クラブの名称とそれを達成した年度は、世界本部の栄誉の殿堂に展示される表彰楯に刻まれ、恒久的にたたえられます。

Kristin Boxall

Donor Services Supervisor

その最初の証明手続については、ガバナー事務所へお問い合わせ下さい。

例会場・事務所移転とビジターフィー変更のお知らせ

この度、例会場・事務局の移転及びビジターフィーの変更を下記の通りに致します。

1998年4月17日より

●事務局/〒472-0033 知立市中町中128
知立セントピアホテル510号室

TEL (0566) 84-2760 FAX (0566) 84-2761

●例会場/知立セントピアホテル

〒472-0033 知立市中町中128

TEL (0566) 85-3939

●ビジターフィー 旧2,000円→新2,800円

知立ロータリークラブ 会長 永井 浩
幹事 吉澤 一彦

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



川合 久雄様 (豊田東R.C.) 3月11日
石井 一夫様 (名古屋港R.C.) 3月17日
松本 栄一様 (奥三河R.C.) 3月29日
小村 寿栄雄様 (春日井R.C.) 4月1日

..... お詫びと訂正

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998.3.20 No.10

●10ページ：1998年度米山奨学生の選考試験の報告のなかで、面接試験官のお名前がまちがっておりました。

岩間俊也→岩間俊夫

●13ページ：「規定審議会を4年に1度開催し、…」の項を削除。

正しくは「規定審議会は3年に1度開催される。」です。

●裏表紙：出席報告

*東知多RC会員数(当月)71(増減)4 *尾張第一分区
会員数(当月)394(増減)11 *瀬戸RC会員数(当月)86
(増減)4 *東尾張分区会員数(当月)710(増減)18

*当月末会員数6,430名 *増加会員数196名 *減少会
員数22名 *差引純増会員数174名 が正しい数字です。

「クラブ計画書を読んで」Ⅲ

地区幹事
片山 主水



3 委員会について

(4) 各クラブの設置されている委員会は、クラブ奉仕委員会からはじまって、米山記念奨学会委員会まで、地区内全体的によく統一されています。

その中で感じたことを2、3記します。

1つは、ロータリー財団委員会と米山記念奨学会委員会のことです(国際奉仕委員会から別れておらずこの委員会のないクラブも数クラブありました)。

この委員会の設置のことは、クラブ定款・標準細則にも規定されていません。

それは、ロータリー財団と米山記念奨学会がそれぞれロータリーとは別個の法人組織になっていますから、その法人をロータリーが内部組織として規定する訳にはいかないということでしょう(RI定款は運営について第12条で「ロータリー財団はRI細則に従って運営されるものとする。」と規定しています)。米山記念奨学会は日本国内の別個法人でRI本部とは関係のないことから二重の意味で、正式な内部機構には規定できない訳です。

さてこのことを念頭にいたうえて、各クラブがこの両委員会を設置する以上、クラブ細則に、設置およびその職務内容、委員数、任期等を規定したいものです。

ニコボックス委員会や会場設営委員会などについても、細則に規定せずに設置しているクラブが多くありましたが、ロータリー財団委員会と米山記念奨学会は、これらの委員会と違ってロータリーにとって特殊の関係の委員会ですから、特にその辺りを明確にしておいた方が良いでしょう。

ことのついでに、クラブの慣例として毎年設置しているその他の委員会等についても細則を見直してみてください。いろいろ気づくことがあります。

2つ目は、クラブ奉仕関係の委員会が仕事の量の割に数が多過ぎると感じたことでした。

職業分類・会員選考・会員増強の3関連委員会、それに会報委員会・雑誌委員会・広報委員会、これら3委員会等についても、もう少し合理的に整理してもいいと感じました。

4 理事の委員長補任について

さて、どの委員長に理事を充てるかについて、全くの私見を述べさせていただきます。

(1) まず、理事の数の最大または最少については、定款は触れるところがありませんから、何人でも構わない訳ですが、基本的には「4大奉仕委員長は理事を充て・」(第7条第1節)の訳ですから4人以上なら取りあえず推奨細則には沿うことになります。

役員が会長、副会長、会長エレクト、幹事、SAA、会計と少なくとも6人いますから、役員をバックアップする理事会の基本メンバーの理事がそれより少ないというのは、アンバランスでしょう。従って最低6人は選任する必要があるように思います。

では最高はというと、これも決めがありませんが、大クラブを除いて会員10人に1人の割りというのが、すわりのいい感じです。

この理事の数の設定およびその後の変更は推奨細則第1条第1節の理事の員数が空欄になっていますから、総会で決めることを忘れないようにして下さい。

(2) さて次に、4大奉仕委員長以外にどの委員長に理事を充てるか、これについても定款・細則は、理事が委員長を兼任したり役員を兼任したり、あるいは無任所であったり、いずれが良いとも悪いとも言っていないから、クラブ自体であるいはその年度の会長・幹事で決めなければなりません、クラブ運営上、重要な委員会の委員長は理事の兼任が効率的でいいように思います。

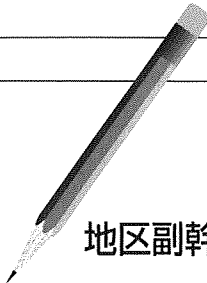
それではというと、全くの私見であることを再度断りますが、4大奉仕委員長の次にくる「新世代の育成と環境保全」の青少年活動委員長と環境保全委員長、併せて5大奉仕委員長・6大奉仕委員長と言っているように思いますが、この2委員長には理事を充てたいものです。

さらに、クラブ奉仕のなかで、会員増強委員長、これはクラブの会員維持のかなめ、クラブ存立の要委員会重要です、それに親睦活動委員長、出席委員長。

「ロータリーの目的は奉仕であり、奉仕は親睦の中から生まれ、親睦は先ず出席から始まる。」と言います。

親睦活動委員長が理事会のメンバーであれば親睦委員会の重みも増しますし理事会も事務上好都合です。また出席委員長も理事という重みをもって、会員に対しあらゆる会合・行事への出席・参加を勧誘し叱咤するという意味で、出席委員長に経験豊かな会員が理事となつて当たるのは有効ではないでしょうか。

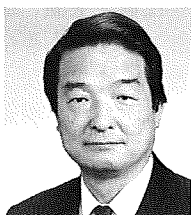
ロータリー情報委員長も新入会員を始め会員に情報を提供し、会員の研修・勉強会を開くことなどを担当する重要な委員長ですが、職掌がら多くのクラブでは元会長が担当しておられるようですから、かえって理事でない方が色々な意味でいいようです。



地区副幹事より

I.Mに参加して

地区副幹事
伴 禎夫



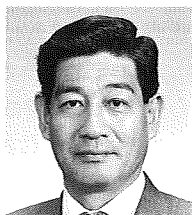
1月31日、東三河分区のI.Mを始まりとして、3月29日の尾張第一分区のI.Mを最後に8分区のすべてのI.Mが開催され、うち6分区のI.Mに参加させていただきましたが、いずれのI.Mとも、すばらしい大会でした。

犬飼ガバナーが『I.Mは分区の地区大会です。お互いにロータリーの原点に帰り、友情の輪を広げると共に、ロータリーの心を行動に移す決意の場所です』と言われていた様に、各大会とも、時宜を得たテーマと内容の充実した大会で、特に選ばれた講師（磯村尚徳氏、江口克彦氏、中村幸昭氏、井沢元彦氏、また高浜RCの神谷昭司氏）の皆様は、誠に示唆に富んだ、興味深いお話をされ、大いに感銘を受けた次第です。大会を計画され、時間をかけて用意周到に準備された、分区代理を始め、ホストクラブの皆様の努力の結集が、この大会を成功裡に終らせたのではないのでしょうか。

分区代理の皆様、大変御苦労さまでした。

副幹事を務めて

地区副幹事
宮崎 薫



1995～'96年度 第2760地区地区協議会ホストクラブ

1996～'97年度 第2760地区名古屋第一分区の分区代理に各務芳樹氏（名古屋東南R.C）就任、I.Mホストクラブ

1996～'97年度 第2760地区ガバナーノミニーに犬飼栄輝氏（名古屋東南R.C）就任

1997～'98年度 第2760地区ガバナーとして地区の主要行事大会等を主催

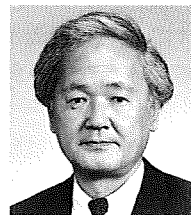
1998～'99年度 第2760地区地区大会ホストクラブ

1999年3月 名古屋東南R.C創立30周年

以上が我が名古屋東南ロータリークラブの5年間の主要行事であり、正に当たり年の連続である。最初の頃は「大変ですネー」などと他人様の様な会話で済んでいたのに、我が身に役が回って来て、しかも途絶える事無くふりかかり、遂には悲鳴となったのでした。しかしロータリアンは大変立派な方々ばかり、特に犬飼ガバナーのスケジュールは大変過密で、寸暇を調整してロータリーの仕事に打ち込んでおられ、我々若い者も全く感服の至りです。私も社内では「社長は何でこの不景気に……」と陰口がありそうに感じていますが、微力ながらロータリアンとして犬飼ガバナーのお手伝いをする事で奉仕活動の一端を担っているんだと思い、務めてまいりました。おかげさまで残り2ヶ月余りとなりましたが本当に充実した毎日に感謝し、多くの方々との新しい出逢いと、皆様のご指導ご協力にも重ねて感謝申し上げます。

思い出

地区副幹事
大西 弘高



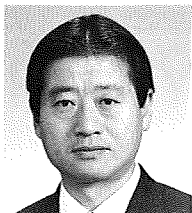
地区副幹事の役目も後3ヶ月足らずになりました。一番の思い出は、飛鳥での地区大会で、田原R.Cの大会実行委員会の皆様と大会を運営するにあたりいろいろな出来事がありましたが、友人として本当に親しくなれたと思っています。田原R.Cの皆様には心からお礼申し上げます。

そしてもう一つの思い出は、G.S.Eの打合せの為に松前G.S.E委員長とのブラジル訪問です。片道24時間の空の旅は少しきつかったけれど、地球の反対側のブラジルへ訪問する事が出来大変嬉しく思っています。地区副幹事の役目を引き受けていなかったなら、一生行く事は無かったと思います。ブラジル、リベルダーデR.Cの例会参加、サンパウロノースの会長就任式、スサノの町並、ピラニアの刺身、イグアスの滝と、私の思い出の旅となりました。特に全長4kmの滝幅を持つイグアスの滝の景観は大変すばらしいものでした。この景色を見ただけでも、ブラジルへ来た価値が有ると思えました。

この原稿を書いている今（4月3日）、ブラジルG.S.Eのメンバー5人が当地区に来ています。リーダーの豊田さんには、サンパウロで大変お世話になり、ホームステイをさせていただきました。8ヶ月振りにお会いして非常に嬉しく、親しみを感じています。G.S.Eが成功し、ブラジルチームに喜んでもらえればと思っています。

三つの幸せ

地区副幹事
佐久間 貞介



人生には三種類の幸せが有ると言う。

一つ目は「もらえる幸せ」

赤ん坊がお腹がすいて泣けばミルクがもらえる、おしめが濡れれば取り替えてもらえる。誕生日の贈り物をもらう、乗り物で席を譲ってもらう、食事を奢ってもらう。大人にとっても何かをしてもらうというのはとても気持ちがよくて幸せな気持ちになるものです。

二つ目は「できる幸せ」

子供の時、一生懸命練習をしてやっと自転車に乗れた時のうれしさ、猛勉強をして成績が上がった時の満足感。努力して大きな注文がとれた、苦労の末、難しい仕事を成功させた時の達成感。難しい事、困難な事が努力して、できるようになった時のうれしさ、満足感人はとても幸せな気持ちで一杯にします。

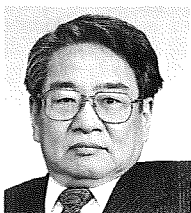
三つ目は「あげる幸せ」です。

子供に愛情をいっぱいあげた時に感じる幸せ、お年寄りの手を引いてあげた時、とても喜んでもらった事に感じる幸せ。人に何かをあげたり、してあげたりしたことで相手が喜ぶ姿を見る事で幸せな気分になる、相手の喜びが自分の喜びと感じる幸せです。人生の幅を二倍にも三倍にも広げてくれる幸せです。

最近では二つ目の「できる幸せ」までもいかないで「もらう幸せ」で止まっている人も多いようです。ロータリーの「奉仕の心」もこの「あげる幸せ」そのものであり、この幸せにもっとも大きな喜びを感じることが出来る人になる事がもっとも大事な事だと思います。少しでも「できる幸せ」を増やして行って、これからの人生を豊かに、楽しくしてゆきたいものです。

「ガバナー月信」自評

地区副幹事
福島 啓氏



この原稿が載る号も含めて、ガバナー月信も残すところ4号となりました。(いけないと思いつつ、やれやれとの気持ちがどうしても先に出版します。) 月信は、ガバナーにとってもっとも重要な広報手段であり、かつ広報はガバナーにとって最も重要な活動の一つであるとの認識のもとに大いに意気込んで取り組みました。ドイツ・ナチスにおいてヒットラーが成功したのは広告宣伝相ゲッペルの力によるものといわれているごとく、広報の力は甚大であります。

ところで、私達の月信はどうだったでしょうか。

表紙の「動物シリーズ」はまずまずの出来であったと自負しております。

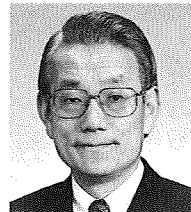
新企画としては、「クラブ紹介」や「同好会紹介」そして「ガバナーエッセイ」の欄を設けました。これら企画は概ね成功であったと思いますが、頁数をいずれも1頁と限定していたため、十分なものとならず中途半端な紹介記事になったのではないかと、ガバナーのエッセイについてもその真髓にどこまで触れることができたかという点で、不満がありました。

私達は、当初、ガバナー月信をこの地域の会員にとって、とても楽しく興味ある雑誌にしたいと思っていましたが、未だ志半ばと言ったところです。

まだまだ、やるべきことはたくさんあります。が、一度にそんなに欲ばってはいけません。次年度以降に期待します。

「EXPO2005地球市民の会」の設立について

地区副幹事
鈴木 雅雄



平素よりガバナー事務局の運営については格別のご高配を賜り、先づもって厚く御礼申し上げます。

さて、2005年には、愛知県瀬戸市において日本国際博覧会が開催されることになりました。開催地である愛知県民が一致協力しその開催気運を盛り上げて参加意識の醸成を図るとともに、国内外から訪れるロータリアンの皆様をあたたく迎える環境づくりが必要となります。

国際ロータリー2760地区犬飼栄輝ガバナーも、ライオンズクラブ国際協会334-A地区井澤一義ガバナーとともに、日本国際博覧会協会、地元地方公共団体との連携を深め、協力して博覧会開催の気運を盛り上げるべく「EXPO2005地球市民の会」の発起人の一人となっております。

発起人としては、他に、「21世紀の生き方を考える会会長（梅村清弘氏）」、「社団法人愛知県建築士会国際博推進特別委員長（梅田俊比古氏）」等を含め9人であり、5月19日には、同会の設立総会開催の予定です。

2760地区内の各ロータリークラブにおかれましては、同会の設立趣旨に御賛同の上、同会の「一般会員」に御入会を頂き、日本国際博覧会の気運を盛り上げて頂くとともに、開催期間中国内外のロータリアンを温かく迎えることのできる企画等を出して頂きたいと存じます。

高浜ロータリークラブ

広報委員長 市村 法子

高浜ロータリークラブの特色の第一番目は、何と言っても「青少年交換プログラム」に力を入れていることでしょう。高浜クラブの創立直後の1970年度から、ほとんど毎年継続して交換学生の派遣・受け入れを続けてきました。その数は、派遣学生37名、受け入れ学生34名に上ります。(筆者は第一回目の1970年当時高校生で、アメリカから来た交換学生と、毎朝一緒に満員電車で通学しました。

クラブの創立20周年に際しては、それまでの経験を生かして「青少年交換の手引き」を発行し、ホストファミリーや派遣学生、受け入れクラブに役立たせていただいています。

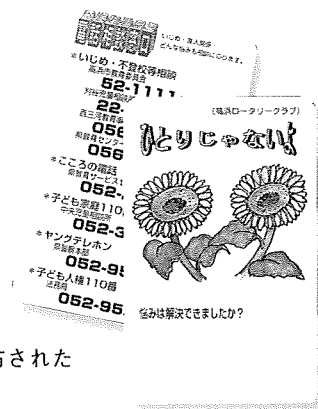
1997～98年度にブラジルから来日していた、交換学生のヴィトール君は積極的に地域に溶け込み、高浜市の祭礼にお囃子の演奏者の一人として参加しました。帰国前のお別れパーティーの席でも私達に演奏を聞かせてくれ、楽しい思い出を残して行ってくれました。

国際交流の一助を担いたいという想いはロータリークラブの中だけにとどまらず、高浜市の国際交流基金に寄付をし、中学生のオーストラリア派遣事業のお手伝いもさせていただいています。

地域の教育・福祉等への支援活動も積極的に
行っています。今年度は、高浜市教育委員会、高浜
市いじめ・登校拒否対策推進委員会の「相談カー
ド」作成のお手伝いをさせていただきました。い
じめ、友人関係、学校や家庭のことなどで悩んだ
ときに、このカードに記載された相談窓口に電話
をかけ、気軽に相談にのってもらおうと言う趣旨
で、市内の小学校4年生以上の児童・中学生に配
布されました。相談窓口としては、児童相談所、
こころの電話、子ども家庭110番などが記載され
ています。

その他にも市内の少年スポーツ大会・身障者運動会・福祉まつりなどの協賛や支援活動も行い、たくさんの会員が参加しています。昨年は高浜市社会福祉協議会へ車椅子を、また、消防署に消防司令車を寄贈するなど、地域社会への奉仕にも努めています。

会員同士の気楽な交流も高浜クラブの特色の一つです。年に数回、インフォーマルミーティングが会員の自宅で開かれ、お酒を交えての楽しい会話の場が持たれます。通常の例会だけではなく



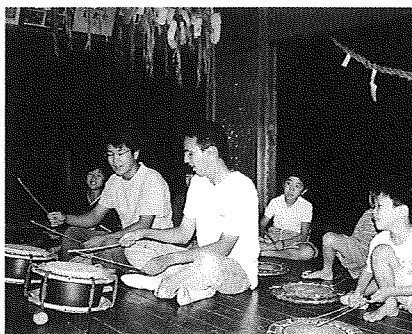
市内の小学生に配布された
「相談カード」

か味わうことのできない、本当に暖かで、気のおけない交流を楽しんでいます。夫人同伴での会もあり、ロータリー活動を支えてくれている夫人の理解を深めるのにも役立っているようです。

高浜ロータリークラブは、会員全員がいつまでも“*Young at heart*”を目指している、若々しいクラブです。

●高浜ロータリークラブ

創立年月日	1969年 2 月18日
RI加盟承認年月日	1969年 2 月26日
認証状伝達式	1969年 5 月20日
チャーターメンバー	3 名
特別代表	故 林 虎雄氏
スポンサークラブ	刈谷ロータリークラブ
事務所	チサンセミナホール高浜
例会場	チサンセミナホール高浜
例会日	火曜日



お囃子に参加した
ブラジルからの
交換留学生、
ヴィトール君

一宮北ロータリークラブ 美術同好会 *One club, One colour*

会長 石川 金男

先に犬飼ガバナーから、各クラブの独自の色を出すように、とのご指示がありました。正に当クラブは、それに相応しい文化を愛するクラブであります。文化爛漫であります。則ち、

1. 木版画制作に素人離れの、伴正保君
2. 洋画は玄人はだしの、チャーチル会員の荒井昭一君
3. 日本画の上手な、地区IA副委員長の荻本鉄夫君
4. 茶道に集まる、若人達
5. 薔薇の栽培に情熱を燃やす、岩井勝君、加藤康夫君
6. 日本舞踊の達人、加藤昭二君。仕舞の多田政子夫人
7. 護身武道の指南役、小咄の上手な名物先生、日野康司君
8. 囲碁で黑白を楽しむ人、森田進君、森四郎君、岩井勝君、神田文弘君、橋本担君。

なお、当クラブには一宮北ロータリークラブ美術同好会という、美術に愛着のあるクラブ会員の会があります。会長・佐藤総一郎君、幹事・山本保君、顧問・木下新一君、会員数45名。

毎年1回、親睦委員会と共催で、家族共に美を求めて美術館や各種美術展の見学旅行をしています。最近では、倉敷の大原美術館、京都鷹峯の琳派発祥の地の光悦寺、静岡市のロダン美術館、芹沢銈介美術館、奈良県生駒郡安堵町の富本憲吉記念館、杉本憲吉美術館、ルノアール展、ゴーギャン展、オルセー美術館展、清春芸術村、白樺美術館等。

一宮北ロータリークラブ20周年記念事業として、野村万之丞、野村万作、野村万之介による「棒しばり」「那須の与市」の観賞会。熱田能楽堂にて、野村狂言の会名古屋公演の出張例会。京都

河井寛次郎記念館の寛次郎設計の建物、登り窯、作品等見学。八事八勝館での北大路魯山人の作品鑑賞会。安藤日出武先生の仙山窯で、先生指導による陶芸教室。

例会のスピーカーには、東大寺清水管長、ロスの百米背泳金メダリストでJOC副会長の清川正二氏、絹谷幸二画伯、安藤日出武先生、人形からくり師の玉屋庄兵衛氏、能・笛方藤田流11世宗家の藤田六郎兵衛氏。

一宮博物館の絹谷幸二先生の大壁画は、当会員の中野建設(株)(安井久雄君)の寄贈によるものです。

林利三君のお兄さんの林宗正教授は、表千家の師範で、不審庵のお庭拝見や茶会など紹介して頂きました。

小栗利宣君は裏千家の淡交会の監事で宗代。夫人は幹事で、今日庵へ案内して頂いて、大いに千の利休の茶道を勉強しました。このような行事は、ロータリー会員の親睦に大変寄与しております。

<会員の美術品のコレクション>

佐藤総一郎君(梅原龍三郎、林武、藤田嗣治、ピカソ、ムンク、ブラック等、陶器の安藤日出武)。木下新一君(ゴーギャンのノアノアシリーズの木版画、岸田劉生、ルオー、ブラック、クレール、クリムト、絹谷幸二、北大路魯山人等)。山本保君(香月泰男等)。山本基君(須田剋太)。伴正保君(浮世絵)。豊田昌夫君(佐分信、民芸品)。松原幹彦君(絹谷幸二)。水野憲司君(清水公昭)。神田文弘君(森芳雄)。石井福男君(林武、香月泰男、小糸源太郎)。野村七郎君(加藤鉞)。

文化を愛する人は心の美しい人です。ロータリーを愛する人は心の優しい人です。ロータリーと文化の共生、ロータリーと文化は同行二人、こうして一宮北ロータリークラブ会員は、ロータリー精神を守りつつ美しいものに憧れて、この35年を歩んで来ました。一宮北ロータリークラブ35周年記念品は、佐藤総一郎君が安藤日出武先生に特別にお願いした鶴の絵付の志野の大皿です。35周年は一通過点で、我々一宮北ロータリークラブがつるにあやかって千年も栄えるようにとの思いを込めての贈物であります。

琳派 発祥の地 光悦寺
と観桜(小室 原谷苑)
1997.4.17



先に注ぎに行け

ガバナー 犬飼 栄輝

3月31日、犬山の桜は満開でした。4月5日、岡崎の花も最高でした。4月9日、高知は花吹雪でしたが、もう田植えが終わっていました。

4月10日、犬山はすでに葉桜。翌11日はびわこバレーの春まつり「比叡山大護摩」の日、枝もたわに咲き誇る望湖千本桜に目を見はりました。

1598年旧暦3月15日、醍醐の花見から、今年はちょうど400年です。秀吉は長年にわたり、茶会や宴会で諸大名、商人らを集め政略の場としてきましたが、この年は身内だけの花見となりました。

朝鮮戦局の悪化で、諸大名はそれぞれではなかったのでしょう。秀吉は1300人の女房を従え、秀頼や北政所とわが世の春を楽しみました。

そしてこの年8月18日、秀吉は62歳でなくなります。2年後の1600年は関ヶ原天下分け目の戦となり、大阪の陣と続き、徳川政権が始まります。

当時の日本のすごいエネルギーと、ある意味でのバブル崩壊、そして新時代への激しい移行は、400年後の今の私たちの行方を暗示しています。

歴史とは後でわかるもの。秀吉も家康も、渦中の人たちはあの戦国の世の後、幕藩体制が260年も続くとは知る由もありません。

花見といえばお酒。お酒といえば私は故・土川元夫名鉄会長を思い出します。土川さんの宴会マナーは大変きびしく、今も覚えていて、本当に実行しています。

- お客様のご挨拶を、あぐらをかいて聞くな
- お客様より先に箸をとるな
- ふんぞり返っていないで、先に注ぎに行け
- 飲めぬ人にムリ強いするな
- 唄やおどりは、自席にもどって見よ
- ご馳走を残すな 勿体ないではないか

この他まだありますが、口癖のように言われたのは「お前達をご馳走しているのではないぞ」。

考えてみると、昼間のビジネスでの対人関係には、お互いに礼儀やマナーなど自律神経が働いて一応キチンとしています。しかし夜の部は、お酒が入るせいか、とかく自然体になりやすいと思います。昼間のユーイズムが、夜はミーイズムに急変し、無神経や勝手主義が横行します。

アルコールの効用は、本音と建前の世界を行ったり来たりすることです。だから酔払ってしまっではいけないが、全く酔わないのでは何のためのお酒かわかりません。このバランスがむずかしいと思います。宴会でのお行儀は「躰」か教養のようなもの、会社や組織のレベルがよくわかります。

酔払いの正気違わず。酒のせいにして言いたい放題の人もあります。酒を飲まなければ、何ひとつ言いたいことを言えない人もいます。それがお客様なら、徹底して聞き役に回りましょう。

しかし同じ会社の人間となると、始末が悪いというか、やはり困ります。酒の勢いで威張るのは小者だと思っても、日本の会社は江戸時代なみの階級社会が多いから、部下として放っておく訳にはゆきません。お互に愉快になるために飲むお酒です。どんなに盃を重ねても、周囲にイヤな思いをさせぬようにするのは、マナー以前の問題です。

壮年期の土川さんは本当に強かったと思います。

何十人の宴会でも全部注いで回り、乱れることなく泰然としていました。私たちには酒の入った時より、正気の時の方が遙かに恐い存在でした。

実は今でも時々叱られている夢を見ます。目がさめて、ああ夢でよかったと胸をなでおろします。

褒められたこともない訳ではありませんが、夢では絶対出てきません。

永六輔の「二度目の大往生」にこんなことが書いてありました。人間は2度死にます。まず生物として死んだ時です。そして2度目は、生き残った人に本当に忘れられた時です。なくなられてからもう24年、土川さんはまだ生きています。

いい悪いは別にして、人生の夜の部の何割かは酒道場です。強い弱いは天分ですが、飲み方の上手、下手は本人の自覚と努力次第です。

営業マンはお客様から誘われるようになって、一人前。情報の多い人は大体お酒に強いようです。

しかし私のように飲むだけで、余り情報のない人間もあります。「逆は真ならず」でしょうか。

お酒でよい友達を沢山つくり、どんどん仕事を伸ばしてゆく人。逆にお酒に飲まれてしまう人。嬉しい酒、悲しい酒、苦い酒。人生はさまざまです。ゆく春を惜しみつつ、美酒を味わいましょう。

ご協力ありがとうございました

国際ロータリー第2760地区 国連支援募金状況

単位:円

月 日	団 体 名	募金額	月 日	団 体 名	募金額
H8.12.19	名古屋千種RC	26,062	H9. 8.29	知 多 R C	30,000
H9. 2. 5	豊 橋 北 R C	50,000	8.29	蒲 郡 R C	24,885
3.11	あ ま R C	73,000	9. 4	豊 橋 南 R C	39,060
7.30	田原パシフィックRC	25,454	9. 9	豊山・城北RC	13,760
7.31	知 立 R C	11,800	9. 9	名古屋名北RC	37,600
7.31	高 浜 R C	10,000	9.16	名古屋大須RC	64,154
8. 8	豊 川 R C	24,000	9.26	東 海 R C	34,443
8. 8	一 宮 R C	60,000	9.29	尾 張 旭 R C	33,000
8.12	江 南 R C	20,000	9.30	半 田 R C	30,000
8.11	岡崎城南RC	44,718	10. 7	瀬 戸 R C	15,382
8.11	東知多RC	40,748	10.13	名古屋西RC	99,010
8.12	岡崎南RC	26,423	10.16	名古屋和合RC	10,000
8.13	岡崎東RC	42,840	10.20	尾張中央RC	17,659
8.19	名古屋名駅RC	55,810	10.23	瀬戸北RC	42,101
8.20	常 滑 R C	45,672	10.24	豊田三好RC	15,286
8.22	名古屋西南RC	30,000	10.28	一宮中央RC	32,652
8.22	一 色 R C	42,000	11. 4	西尾KIRARARC	13,674
8.25	碧 南 R C	40,500	11.11	半 田 南 R C	38,175
8.26	刈 谷 R C	80,000	11.19	名古屋錦RC	44,190
8.26	名古屋栄RC	80,000	11.28	名古屋東山RC	6,000
8.26	名古屋北RC	56,500	12. 1	豊川宝飯RC	20,000
8.26	西 尾 R C	18,199	12. 1	津 島 R C	89,000
8.28	岡 崎 R C	82,429		合 計	1,736,186

(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターより、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金報告書が届きました。

皆様の暖かいご支援により、多大の成果をあげることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

(愛知県)

単位:円

団 体 名	振込件数	募金額
「ダメ。ゼッタイ。」実行委員会	84	897,730
ライオンズクラブ	4	63,861
ロータリークラブ	45	1,736,186
総 計	133	2,697,777

(全国)

単位:円

団 体 名	募金箱配布数	振込件数	募金額	平均募金額
都道府県キャンペーン	82,978	5,493	71,045,813	12,908
企 業	18,960	208	2,903,288	14,026
ライオンズクラブ国際協会	3,300	559	11,867,440	21,230
国際ロータリークラブ	2,200	592	18,115,635	30,601
中 央 官 庁 職 域	1,500	295	2,203,801	7,471
日 本 カ ラ オ ケ 協 会	4,000	237	737,145	23,110
総 計	95,838	7,384	106,873,122	14,456

平成9年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金は12月3日で締め切りました。
12月4日からの分は、平成10年度の募金に計上されます。

文 庫 通 信 127 号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最新資料から その2

- ◎「岐路に立つロータリー」
今井 鎮雄 1997 13頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「職業奉仕セミナー」
深川 純一 1997 25頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「スマイル ボックス」
村橋 善高 1997 208頁
[申込先 村橋病院 TEL (0977) 23-3231]
- ◎「ロータリー・今、求められているもの」
菅野多利雄 1997 18頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーのこころ」 佐藤 千壽 名古屋港R.C.・東海R.C.・名古屋西南R.C. 1997 65頁
[申込先 名古屋港R.C. TEL (052) 586-2955]
- ◎「井坂 孝 資料①」
鈴木 清次 1998 7頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「労多利庵」
細川壽太郎 大阪阪南R.C. 1998 84頁
[申込先 大阪阪南R.C. TEL (06) 772-5816]
- ◎「ロータリー職業奉仕推進のために アンケート及び寄稿文を中心として」 D.2590 1998 88頁
[申込先 D.2590 TEL (044) 430-2590]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロ ャ リ ー 文 庫

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	半田	100	4	68	70	2
	常滑	99.65	4	71	74	3
	東海	98.39	3	59	62	3
	東知多	95.20	4	67	71	4
	半田南	98.46	4	69	70	1
	知多	98.91	4	49	47	-2
	6RC	98.43		383	394	11
名古屋第一分区	名古屋	97.64	4	221	238	17
	名古屋西	99.12	4	142	152	10
	名古屋南	99.17	3	127	134	7
	名古屋港	100	4	128	131	3
	名古屋東南	100	4	89	94	5
	名古屋中	99.53	4	162	171	9
	名古屋瑞穂	100	3	102	100	-2
	名古屋大須	99.23	4	101	101	
	名古屋栄	98.47	4	80	83	3
	名古屋名駅	96.70	3	102	111	9
	名古屋名南	97.63	4	89	88	-1
	名古屋西南	100	4	54	58	4
	12RC	98.96		1,397	1,461	64
名古屋第二分区	名古屋北	99.50	4	112	111	-1
	名古屋東	96.85	4	114	115	1
	名古屋守山	95.00	4	86	85	-1
	名古屋和合	100	3	108	114	6
	名古屋名東	99.70	4	83	83	
	名古屋名北	100	3	71	77	6
	名古屋千種	100	4	65	65	
	名古屋昭和	98.95	4	69	74	5
	名古屋錦	96.59	4	64	68	4
	名古屋東山	97.26	4	54	57	3
	10RC	98.39		826	849	23
東尾張分区	瀬戸	100	3	82	86	4
	犬山	100	4	83	87	4
	江南	98.9	4	73	76	3
	小牧	95.76	3	72	75	3
	春日井	100	4	81	83	2
	尾張旭	100	4	66	68	2
	名古屋空港	97.77	4	68	70	2
	瀬戸北	98.49	4	69	70	1
	岩倉	98.05	4	41	39	-2
	豊山一城北	94.30	4	57	57	
	10RC	98.33		692	711	19

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
西尾張分区	一宮	99.50	4	92	96	4
	津島	100	4	87	91	4
	尾西	98.77	4	61	61	
	一宮北	99.08	4	84	82	-2
	稲沢	97.07	3	65	71	6
	あま	99.30	4	104	106	2
	西春日井	100	4	64	67	3
	尾張中央	100	3	50	54	4
	一宮中央	99.55	3	75	74	-1
	9RC	99.25		682	702	20
東三河分区	豊橋	98.90	4	133	132	-1
	蒲郡	93.65	4	76	77	1
	豊橋北	99.54	4	112	115	3
	豊川	98.46	3	80	80	
	田原	100	4	72	72	
	豊橋南	100	4	73	74	1
	新城	93.30	4	68	66	-2
	渥美	94.03	3	65	67	2
	奥三河	93.57	4	39	43	4
	豊川宝飯	97.22	4	67	66	-1
	豊橋ゴールデン	99.68	4	83	82	-1
	田原パシフィック	98.31	4	76	74	-2
	豊橋東	100	3	37	42	5
	13RC	97.44		981	990	9
西三河第一分区	岡崎	100	3	121	124	3
	豊田	96.53	4	93	95	2
	岡崎南	99.76	4	115	115	
	豊田西	98.50	4	97	106	9
	岡崎東	98.31	4	93	101	8
	豊田東	96.55	3	97	100	3
	岡崎城南	98.42	4	77	80	3
	豊田三好	97.75	4	35	36	1
	8RC	98.23		728	757	29
西三河第二分区	刈谷	100	4	85	96	11
	安城	97.43	4	91	95	4
	西尾	95.51	4	76	73	-3
	碧南	98.76	3	80	83	3
	一色	100	4	51	50	-1
	高浜	96.59	4	55	55	
	知立	100	3	57	62	5
	西尾KIRARA	98.96	4	72	72	
	8RC	98.41		567	586	19

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増加会員数 217名

当月末会員数 6,450名

減少会員数 23名

当月平均出席率 98.43%

差引純増会員数 194名